

## (2) 更新

### 1) 側溝蓋の設置

農道において、側溝に蓋がないために車両通行時に脱輪したり、農業機械の移動や作業等に伴って側溝を傷付けるなどの恐れがあったりする場合、当該箇所新たな蓋を設置することにより対策を行うこと。

#### 【活動のねらい】

農道において、側溝に蓋がないために通行時に転倒等の恐れがあったり、農業機械の移動や作業等に伴って側溝を傷付けるなどの恐れがある場合、当該箇所に新たな蓋を設置することによって、通行時の安全性の確保に加えて、側溝を保護し、側溝の排水機能の維持を図ることができます。



側溝蓋の損傷

#### 【活動の内容】

##### 1-1) 計画

農道の側溝において、蓋が必要な場所の有無を目視及び聴き取りにより調べます。蓋は、側溝の寸法に応じた蓋を準備する必要があります。様々な種類の蓋があるので、決定に当たっては、施設管理者や関係機関等に相談することが大切です。

なお、市町村や水土里ネット等の管理する施設において工事を行う場合は、あらかじめ、市町村や水土里ネット等と協議を行い、必要となる図面等の書類、譲渡の時期、その他必要となる手続きについて指示を受けて下さい。

##### 1-2) 実施

コンクリート蓋を作業場所まで車で運搬する場合は、振動により破損することが無いように布をクッション代わりに巻いておくなど養生しておきます。また、コンクリート蓋は重量物であるため、その取り扱いには十分に注意が必要です。蓋を運搬して設置するための専用の器具もありますので、必要に応じてメーカー等に相談します。



水路蓋の設置  
(専用器具使用)

##### 1-3) 確認

蓋設置後は目立った損傷などが無いか、側溝本体及び路面に段差が生じないよう平坦に設置されているかを目視にて点検します。また、蓋をすることによって、側溝の中が直接見えなくなるので、ごみや泥などの堆積などが無いか適宜点検する必要があります。

#### 1-4) 財産

工事完了後は、財産管理台帳に必要事項を記入し、保管します。なお、財産を譲渡する場合は、施設の管理者から受けた指示に基づき、できるだけ速やかに財産を譲渡します。

#### 【配慮事項】

- ・作業に当たって道路を占有するときには、事前に関係機関（所轄警察署等）へ相談し、必要な手続きなどを行います。

#### 【側溝蓋の設置】

～活動例～

#### ○側溝蓋の設置

##### ・対象施設

農道沿い（L=200m）

##### ・活動内容

農道は小学校の通学路となっているが、農道沿いの側溝において小学生の転落事故が懸念されたため、側溝蓋を設置した。

##### ・活動時期

12月

##### ・作業者

水土里ネットの指導のもと、農業者5名、非農業者5名